

科目コード：240011

担当教員	牧野智恵,我妻孝則,元雄良治
------	----------------

開講年次	2年次前期	単位数	4	授業形態	実習
------	-------	-----	---	------	----

Keywords	治療期の看護、多職種と共同、診断技術の習得
----------	-----------------------

授業計画・内容	
---------	--

1週～	1. 実習期間：2年次前期	学生の実習計画に基づいて実習	牧野
-----	---------------	----------------	----

4週	2.	我委
----	----	----

[illegible]

	*特定のがん看護領域（がん薬		
--	----------------	--	--

を受け持ち、教員・医師・がん看護専門看護師の協働のもと

	1) 実践(直接ケア) (1週目～		
--	-------------------	--	--

(1) 複雑で対応の難しいがん患者			
-------------------	--	--	--

	画像診断を行い、適切にアセスメントできる能力を習得する	
--	-----------------------------	--

①	医師の回診（1回/日）に同行し		
---	-----------------	--	--

の効果、有害事象について必要

）についても医師とともにアセスメントする。

② 医師のケースカンファレンス（1）

	卷う。		
--	-----	--	--

	食過程における問題を多面的に アセスメントし、がん看護専門	
--	----------------------------------	--

る。

	対処および症状緩和のために、効果的な看護介入・生活指導を立案し、多職種との協働のもとより高度なケアを実践し、さらにケアの開発および評価をする。 ２）相談・調整・倫理調整（２週目～） (1)受け持ち患者への看護実践を通して、がん患者・家族の身の周りに起こっている出来事に対して感受性を高め、がん看護専門看護師の指導のもと倫理的葛藤の場面への介入を行う。 (2)職種間の連携を把握し、介入・調整法をがん看護専門看護師とともに検討する。 (3)1週間に1回、指導教員とがん看護専門看護師を交えたカンファレンスを設け、自身の実践を振り返る。 (4)実習終了後、実習病棟にて事例とそこからの学びを発表し、スタッフへフィードバックする。	
教科書	必要に応じて紹介する	
参考図書等	必要に応じて紹介する	
評価指標	準備状況と実習への取り組み(50%)、カンファレンス時の発表・質疑応答内容(30%)、看護実践記録(20%)によって評価する。	
関連科目	がん看護実習Ⅰ、Ⅲ	
教員から学生へのメッセージ	がん看護専門看護師になる上で、有用な実習ができるよう、事前学習を十分に行い、医師やがん看護専門看護師と積極的な討議の機会を設け実習を行ってほしい。	